

役に立っておもしろい、あなたにプラスな地元情報
[週刊うえだ プラス・ユー]
2016 No.65

Weekly Ueda PLUS

Useful, Unique,
Ueda and you.

- A面 女性の創業を応援! 大特集
- B面 学習塾特集
- C面 ウィンタースポーツ大特集
- D面 わが街トリップ 生島足島神社



4か月にわたって行われた「創業スクール」と「女性起業家との交流会」が、ついに最終回を迎えました。上田市内外から多くの女性に参加し、夢を叶えるために学びを重ねた日々。彼女たちのチャレンジは、きっとこれからの上田に活気を与えてくれるはずです。

わたしが創る、わたしのシゴト。女性の創業を応援! 大特集 最終回

創業スクール第1期 修了!

女性のための創業スクールも、いよいよ最終講義。(週末コースは10月1日、平日コースは10月27日開催)。40人の受講生が、上田商工会議所や金融機関の融資担当者のもと、自分のビジネスプランを発表。わずか2分半という短い時間ながら、創業の動機や提供したい商品・サービスの概要、事業を立ち上げて軌道に乗せるまでの行程などを、思い思いの表現でプレゼンしました。カフェや食堂の経営、パン、お菓子の製造販売、リラクゼーションサロンのほか、革細工や着物、アートフラワーなどの制作や教室開催といった「趣味や特技を生かすビジネス」だけでなく、介護や障害者福祉、教育に携わった経験から「地域社会の課題やニーズに応える」アイデアも多数登場。講評では「男性には思いつかない業種や発想に驚かされる」という声や、「社会的に意義のある事業が実現すれば、東信はもっと住みやすい地域になるのでは」といった評価の声も挙がりました。一方で「資金の計画やターゲットの策定に甘さがある。きちんと利益を出し、事業を継続させることが夢の実現だと考えて」といった指摘も。受講生は真剣な面持ちでアドバイスを聞いていました。



スクールに通いながら起業を実現した木村朋子さん。「病気で糖質を制限されている人も食べられるお菓子を」と、独自のレシピで焼き菓子を製造・販売する事業を始めました。

めたり、お互いに発表しあったりと、さまざまな形で「経営者になるための知識」を得ていただけたかと思いますが、あくまでこれは基礎。今後も自分のビジネスプランを磨き、初心を忘れず、粘り強く夢の実現にむかって頑張ってください」とエールが送られました。



創業スクールのメイン講師を務めた、あがたグローバル税理士法人の中小企業診断士、小林藤子さん。親しみやすい人柄で、受講生からも大人気です。

ビジネスプランの発表と修了式を終えた後の懇親会では、講師の小林さんや受講生同士が親睦を深めました。



8月からほぼ毎週顔を合わせ、お互いの夢や、やりたいことを語り合った仲間たち。受講生の皆さんは「起業しようと考えている女性がこんなにいるとわかって、とても心強いです。ここでの出会いは一生もの。やりたいことは違えど、お互いのビジネスを盛り上げたり、悩んだ時に相談できる仲間が増えて嬉しい」と、充実した笑顔で話してくれました。



▲理科教諭の経験を持つ中沢雅子さんと、英語が堪能な志保さん姉妹は、共同でビジネスプランを発表。英語を交えた理科実験のワークショップを計画しているそう。



▶地域の高齢者福祉に貢献したい、と事業プランを発表した大島緑さん。

全員のプレゼンテーションと講評に続き、「女性のための創業スクール」第1期生の修了式も開催。出席率が8割以上の受講生には、修了証が手渡されました。また、スクールのメイン講師を務めた小林藤子さんからは、「講義を聴くだけでなく、自分の考えをま

わたしのパワーを、事業の新たなエンジンに。女性起業家との交流会 第6回

10月25日に行われた「女性起業家との交流・対談会」の第6回目。今回は会社の中で新しい事業を立ち上げたり、経営を立て直した経験を持つゲストを招き、「女性リーダー×新しい風」というテーマで開催されました。ゲストは「信州イゲタ味噌」の醸造蔵元で明治創業の老舗酒店、原商店の女将を務める原 有希さんと、国内最大級の古本売買事業を手掛ける(株)バリューブックス取締役の鳥居 希さん。原さんは地元の金融機関に勤務したのち、結婚を機にご主人の家業である酒店へ。ですが酒販売の規制緩和や味噌の消費量減少で、年々店の売り上げは悪化。原さんは社長であるお舅さ



会場は第2回の女性起業家対談にもゲストで登場された、菊地久美子さんのお店「そえるcafe」。麴を使ったお料理を囲みながら、アットホームな対談となりました。

んを説得し、それまで大きくPRしてこなかった「国産原料、天然醸造の味噌」を事業の中心に据え、大きく経営を立て直しました。いっぽうの鳥居さんは、東京の外資系金融機関で15年勤務したのち、地元で起業しようとUターン。そんな時旧知の間柄だった(株)バリューブックスの中村大樹社長に誘われ、「一人でやるより、社会にインパクトを与えられそう」と入社。現在は同社の「古書の売買を生かした社会貢献事業」を主導しています。未来を見据え、ひたむきに歩み続けることで困難や新たな挑戦をクリアしてきたというお二人の話に、参加者の皆さんからは「バイタリティがすごい。勇気づけられた!」という声が上がりました。



ゲストご紹介

藻谷ゆかりさん (アグリリーダー・写真左) いい紅茶ドットコム 代表
鳥居 希さん (写真中央) 株式会社バリューブックス 取締役
原 有希さん (写真右) 原商店 五代目女将

全6回の「女性のための創業支援事業」応援特集、ご愛読ありがとうございました。勇気を持って「わたしのシゴト」に挑戦する女性を、週刊うえだも全力で応援しています!

目指せステップアップ

上田市創業支援プラットフォームでは、創業を目指す女性のために、さまざまな支援事業を企画しています。経営の専門家からアドバイスを受ける機会や、起業家同士の人脈づくりまで、一歩を踏み出す女性を丁寧にサポートします。

創業(希望)者アフターフォロー事業

上田市創業支援プラットフォームの「創業スクール」受講者を対象に、中小企業診断士や税理士、先輩起業家が経営上のアドバイスや悩み相談に応じる機会を設けます。



女性創業支援事業の専用WEBサイトがオープン!

<http://shinshu-sogyo.com>

イベントやセミナーの最新情報、先輩女性起業家のインタビュー、創業に必要な手順など、役に立つコンテンツ満載!

Facebookページ「上田市創業支援プラットフォーム」もご覧ください。

主催: 上田市創業支援プラットフォーム

共催: 上田市(市民プラザ・ゆう、上田情報ライブラリー) 企画運営: 一般財団法人 浅間リサーチエクステンションセンター(AREC)

お問い合わせ

一般財団法人 浅間リサーチエクステンションセンター(AREC) 千386-8567 上田市常田3-15-1 信州大学繊維学部内 TEL 0268-21-4377・FAX 0268-21-4382

MAIL sogyo@arecplaza.jp

創業支援事務局 担当: 尾島 彩・岡田 基幸